

留 学 報 告 書

記入日:2019年04月08日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学フラトン校 現地言語: California State University, Fullerton
留学期間	2018年8月～2018年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年1月4日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月中旬～12月中旬 2 学期:1月下旬～5月下旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	1957年

留学費用項目	現地通貨 (USドル)	円	備考
授業料	5622	629000円	
宿舍費	5673	635000円	シェアルーム、80 Block Meal plan
食費	200	22000円	Meal plan 以外の食費
図書費	110	12000円	教科書
学用品費	6	670円	ノート、マークシートなど
教養娯楽費	0	0円	
被服費	400	44000円	
医療費	0	0円	
保険費	1060	120000円	形態: 留学先大学の保険(約\$800)と明治大学の保険(約3万円)
渡航旅費	1600	180000円	
雑費	200	22000円	生活用品
その他	300	33000円	携帯電話(月約\$60)
その他	200	22000円	交通費(UBER、Train、SuperShuttle)
その他		円	
合計	15371	1719670円	



1



渡航関連

渡航経路:ソウル⇄LAX

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	約 9 万
復路	約 9 万
合計	約 18 万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Skyscanner という飛行機チケット比較サイト

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

オンキャンパスの寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 5)

3)住居を探した方法:

大学のホームページ、寮に関してメールが送られます。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

2 人部屋を使っていたため、ルームメイトに生活パターンなどを聞きました。ルームメイトは全員 6 人で、ドイツ、台湾、韓国、インド出身でした。最初に寮内のルールを決めたり、不便なことがあった場合はお互いに直接言いました。オンキャンパスの寮は先着順で決められるので申請最初日に申し込むことをお勧めします。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

ルームメイト、College Park の2階に国際事務室があります。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

危険地域情報などは現地の友達から聞きました。犯罪に巻き込まれたことはありません。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学キャンパス内の Wi-Fi を使っていました。携帯電話はソフトバンクのアメリカ放題で行きましたが、アメリカの携帯からはメッセージが届かなくて、Sprint というお店で月 \$ 60 のプランを使用しました。(高い方です)Sprint 以外の携帯店舗も学校の近くに多いです。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか？(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Bank of America の口座を開設して親から送金してもらいました。アメリカのデビットカードと日本から持って行ったクレジットカードを使用しました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

電子辞書、コンタクトレンズ、常備薬

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

私は渡航後授業料を支払いました。少し苦勞をしたことが、日本から持って行ったクレジットカードに1日使える限度額があって、3回に分けて支払いました。現地で授業料を支払う場合は、締め切り日が8月31日だったので、ぎりぎり間に合いました。

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
マイナビ、リクナビ、外資就活など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 SPI の問題集を持って行ったのですが、10問ぐらいしか解けずに持って帰りました。アメリカを楽しむ時間も足りなかったため、就職活動までは時間的に無理だったと思います。でも、私がアメリカ生活を楽しもうと決めただけで、留学中に就職活動ができないわけはありません。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12単位	<input type="checkbox"/> 8単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Principles of Marketing	マーケティング論
科目設置学部・研究科	Marketing
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Chiranjeev Kohli
授業内容	マーケティングに関する全般的な内容
試験・課題など	試験3回、ポップクイズ4回、グループワーク1回、ウェブ上のマーケティングシミュレーション1回、ウェブ上のマーケティング動画視聴1回
感想を自由記入	日本で学んだ内容もたくさん出ましたが、マーケティングを英語で学ぶので、まず単語を覚えることに集中しました。先生はとても面白く、授業中先生といつもコミュニケーションを取っていました。約250人の学生が受けていたので教室も広がったのですが、一番後ろに座っている人も質問をするなど、活発で良い雰囲気の授業でした。予習と復習がとても重要な授業で、毎回忘れずに勉強をしておけばポップクイズと試験はそんなに難しくないと思います。しかし、試験に分からない単語が出てきたことがあって、その時は困っていました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Mass Communication in Modern Society		現代社会のマスコミュニケーション	
科目設置学部・研究科	Communication		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Emily Erickson		
授業内容	アメリカの映画産業、音楽産業、広告、ジャーナリズム、PR などについて		
試験・課題など	試験3回(ウェブ、50問ずつ)、毎回約 1 時間のドキュメンタリーなどを観てクイズを解く課題が出されました		
感想を自由記入	クイズの課題は最初はとても難しかったです。動画をすべて理解してからクイズを解かなければならないので最初は数日かかりましたが、毎週それを繰り返した結果、3~4時間以内に動画の理解ができるようになりました。また、リスニング力も向上しましたし、授業内容も留学が終わった時点の今までも覚えているぐらいたくさん記憶に残っています。先生も面白く、一番好きだった授業です。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
The Disney Experience		ディズニー研究	
科目設置学部・研究科	Communication		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に165分が1回		
担当教授	Christina Ceisel, Hunter Hargraves		
授業内容	ディズニーの歴史、ターゲット、著作権、文化など非常に深く掘っていきます。		
試験・課題など	課題4回、授業中の簡単なグループワーク、授業前に学校のウェブサイトにアップされる動画視聴後書いた感想を毎週提出		
感想を自由記入	私がディズニーについて知っていた範囲を超え、幅広く深いところまで学んでいきました。授業の内容はほとんどアメリカ文化に関する内容だし、難しい単語もたくさん出たので、絶対易しい授業ではないと思います。しかし、カリフォルニア州立大学フラトン校でしか取れない授業だと思うので、受けて良かったと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Trends and Movements in English Studies and Comparative Literature		流行と動向	
科目設置学部・研究科	English		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Erin Hollis		
授業内容	大体1週や2週に一冊の graphic novel を授業で扱います。本の内容はヒーローストーリー、ダイバーシティ、社会批判、物事の考え方など様々です。ディスカッションの時は、作家はどのような観点からこれを書いたのか、この絵を通して何を意味しようとしたのかなどとても深く考えていきます。		

試験・課題など	授業前に GraphicNovel を読むこと、週1回1～2ページの感想(先生が確認をし、返してくれます)、レポート3回、最後にすべての課題をまとめてポートフォリオとして提出します。
感想を自由記入	ディスカッションがなしには講義が進まない授業です。ディスカッションといってグループに分かれて討論をするのではなく、自由発言に近い形式です。ほぼ全員の学生が手を上げ、自分の意見を言います。他の学生の意見を聞きながら理解できなかったことが解決したり、他のアプローチも発見するようになるので、考えの幅を広げることができました。本は全部図書館で借りられました。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	学校の授業を通して英語勉強
8月～9月	オーストラリアで海外インターンシップ
10月～12月	TOEFL の勉強、2回受験 留学情報収集
2018年 1月～3月	英語勉強 留学情報収集
4月～7月	英語勉強 (Youtube などを観ながら主に会話の練習をしていた) 5月：寮の手続き、履修登録
8月～9月	出国
10月～12月	授業(試験、課題)、旅行など
2019年 1月～3月	帰国、奨学金の手続き、就職活動の準備
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	英語圏の国の大学で勉強をしてみたいという夢は入学前からあった大学生活中の目標の一つでした。留学を決めた理由は大きく3つあります。まず、英語ネイティブの人々の中で英語実力を向上させたいと思いましたし、それを大学留学という過程を通して向上させたいと考えました。また、アメリカのビジネスについても学びたいと思いました。最後に、色々な人にとって、視野を広げ、将来の進路の幅を広げたいと思い、アメリカ留学を決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	授業が難しくても友達との生活が楽しければ留学自体も楽しくなるので、私は留学に行く前に会話の練習に一番力を注いだと思います。Youtube の動画を観ながら現地で使う表現を覚えたり使っはいけない表現などについて勉強をしました。そして、旅行やアメリカでやりたいことについてもっと考えて行けば良かったかなと思います。
この留学先を選んだ理由	アメリカのカリフォルニアに行きたいと思い、カリフォルニアの大学を調べました。カリフォルニア州立大学フラトン校に通われていた先輩が多かったため留学報告書などの情報も多かったし、ビジネスで有名だと聞いてこの留学先を選びました。
大学・学生の雰囲気	遊ぶときは遊んで、勉強をする時はしっかりする雰囲気だと思います。新学期が始まる8月には様々なイベントがキャンパス内に開かれ、みんなで楽しむ雰囲気です。しかし、試験期間になると試験勉強に没頭する学生が多く見られます。また、一年にわたって暖かい方なのでみんなゆったりとしたキャンパスライフを過ごしています。
寮の雰囲気	私は2人部屋が3つある寮で生活をしていました。留学生は大体インターナショナル学生階の寮で暮らすようになります。同じ階の正規生はみんなインターナショナル学生と同じ部屋を使うことを選択した学生なので、留学生にとっても好意的です。私が過ごしていた寮には韓国、ドイツ、台湾、そしてインド人の学生が集まっていたため、異文化交流ができ、毎日楽しかったです。私たちの場合は、ダイニングルームはほぼ勉強のために使われていたので、休みたい人は迷惑をかけないようにリビングや各自の部屋で休みました。そして、夜12時にはみんな寝るタイプだったので、その以降の時間に勉強をする時は自分の部屋ではなくダイニングルームで勉強をしていました。
交友関係	ルームメイトと同じ階に住んでいた友達と一番仲良くなりました。一緒に旅行に行ったり、買い物をしに行ったり、誕生日パーティーなどをしました。K-POP サークルでは全員 K-POP という同じ興味分野を持っていたため、話しやすかったと思います。そして、授業ではほぼみんな同じ席に座るので隣の席の友達に自分から声をかけると、仲良くなれます。分からないことや課題などを聞いた時みんな優しく教えてくれました。
困ったこと、大変だったこと	履修登録が一番大変だったと思います。私は事前に申し込んだ8つの授業のうち5つは受講することができましたが、授業を受けてみると思っていた内容と違う授業が多かったので、5つの授業の中で実際に入った授業は2つしかありませんでした。しかも、保険として選んでいた授業がなかったため、授業の選択に時間がかかってしまい、教授と学部事務室の許可を得ることが難しかったです。結果的には、授業の3つは受けたかった授業を受けられましたし、1つは希望していなかった授業を受けました。
学習内容・勉強について	アメリカでしか受けられない授業を受けられて楽しかったですし、たくさん勉強にもなりました。例えば、マーケティングの授業の場合は、理論は日本で学ぶ内容と同じことがあります。授業で先生が挙げる企業例や社会的な話などはアメリカでしか聞けないと思います。そして、授業を一人で取ることが心配であれば友達と取ることが一番だと思いますが、もしそれができなかつたら先生のオフィスパワーに行く親切に相談してくれます。Writing においては学生ボランティアもいるので、予約をすると約30分間分らないことなどを聞くことができます。

課題・試験について	課題と試験の量は授業によって大きく違いますが、私が受けた授業はすべて3つ以上の試験や課題がありました。試験の代わりにレポートや課題を提出する場合があります。課題の量も多くて、週末に出かけたいなら平日に終わらせた方が良いです。ポップクイズがある授業もあるので、いつも予習と復習をすることも重要です。
大学外の活動について	私はK-POP サークル、International Friendship サークル、そして日本文化サークルに所属していました。一緒にゲームをしたりキャンパス内のボーリング場に行ったりしていました。サークルによって\$5から\$10以上の参加費を払うサークルもありますが、参加は自由なので好きな活動の時いつでも行っても大丈夫です。
留学を志す人へ	まず、留学に行く前には単位をたくさん取っておくことをおすすめします。特にカリフォルニア州立大学フラトン校で留学をする大体の人の場合は、一学期に4つの授業を受けられるので、日本に帰って来て単位換算すると8単位しか取れません。そして、留学の合格が決定された後は、留学先大学の授業を調べることに一番時間をかけてください。履修登録は正規生優先なので留学生は、希望通りに授業を受けられない可能性も高いです。万が一のため、受けたい授業をいくつか選んでおいてください。 最後に、アメリカに着いた瞬間から英語を使う機会はいつでもどこでも存在します。お店で注文をする時、友達と挨拶をする時、UBER のドライバーさんなどすべての瞬間が英語で話せるチャンスです。このような小さな場面でも自信を持って言うと、英語は自分自身も知らぬ間に伸びていると思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業		授業		お出かけ	お出かけ
	課題	授業	課題	授業	自由時間		
午後	授業		授業		自由時間		
		授業		サークル	たまにサークル		
夕刻	課題	課題	課題	課題	課題	課題	課題
夜	課題	課題	課題	課題	課題	課題	課題